



M ハタチの一步 タイコース

1、今回のプロジェクトの志望動機

タイを志望した動機

- ・タイ古式マッサージなどタイの文化に興味があった
- ・タイのナイトマーケットや寺院の写真に魅力を感じた
- ・LGBTに寛容な社会を実際に見てみたいと思った

ハタチの一步の志望動機

- ・初めての旅行は不安なのでガイドさんで行きたい
- ・金銭的余裕がなく海外に行ったことがなかったが、無料で行けるチャンスを見つけたから

プロジェクトを知ったきっかけ

- ・SNSの広告
- ・知り合いに勧められた
- ・大学のポータルサイトで紹介されていた



ハタチの一步

— 20歳 初めての海外体験プロジェクト —

2、タイの魅力 (1)

【街並み】

- ・カラフルな街並みがオシャレだった
- ・都会なビルや昔ながらの屋台が併存している点



鉄道市場にはたくさんの屋台が立ち並び、エネルギッシュな印象を受けました。

(上)

昔ながらのお店には日本の調味料もありました。

(右)



【微笑みの国タイ人の人柄】

- ・バスから手を振ると微笑んでくれた
- ・外国人である私たちを笑顔で迎え入れてくれた



シーナカリンウィロート大学での学生交流では、ハンカチ落としやクイズなどのゲームを楽しみました。(下)

5日間お世話になった現地ガイドのジラさん。ありがとうございました！(左)



2、タイの魅力 (2)

【買い物】

- ・物価が安いので、美味しいご飯やマッサージをたくさん楽しめる
- ・値切りの交渉も楽しい



フットマッサージ1時間で約1000円
 (左上)
 タイパンツ約800円(右上)
 ヤシの実のジュース約100円
 焼きバナナ約20円

【環境】

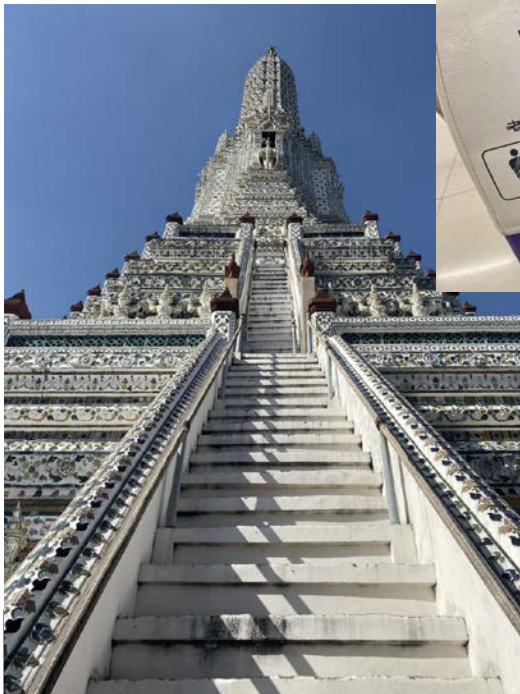
- ・街中や寺院で動物を見ることができる
- ・遅い時間でも、女性だけで大丈夫なほど治安が良い
- ・都市部では英語が通じるのでコミュニケーションをとることができる



2、タイの魅力（3）

【文化】

- ・上座部仏教の持つ宇宙観を感じるきらびやかで派手な寺院
- ・独立が保たれていたことから、長い歴史が目に見える形で残っている
- ・日本と同じ仏教国なのに、お坊さんに対する待遇が違う



優先席にはお坊さんの表記があります。(上)
ワット・アルンは、白い塔がカラフルな陶器で模様付けされており美しかったです。(左)



アユタヤ遺跡群では3か所の遺跡を回りました。かつてビルマ軍に破壊された跡が残っており、歴史を感じました。(上)
ワット・ポーではルーシーダットンに挑戦しました。結構難しかった…(左)

3、今回のプロジェクトを通して今後生きる事項

- ◆英語の勉強に力を入れ、いろいろな国の人とコミュニケーションをとりたいと思った。(複数回答)
- ◆5日間、英語で会話する場面がたくさんあり、英語に対する恐怖心がなくなった。これからは、英語の本や文献をたくさん読みたい。そして、知識をたくさん吸収し、学問を深めたいと思う。(Mさん)
- ◆今まで入出国の流れがわからず、海外旅行をためらっていたが、一度経験することによりハードルが下がった。外国文化の良さを学んだので、これからは自分が海外旅行の楽しさを発信していきたい。(複数回答)
- ◆初対面の子たちとの旅行は緊張したが、人見知りはもったいないと気づいた。(Rさん)
- ◆普段、大学では出会わないようないろいろな学部の友達ができ、自分の視野が広がった。(複数回答)
- ◆タイでは、目に見える貧富の差をたくさん見た。今後、日本で生活するうえでも、新たな視点の一つとして、自身の生活や考えを深めることができると思う。(Jさん)

4、若年層の海外旅行が増加するために

【金銭的なサポート】

- ・パスポート取得代を含んだ旅行パックの作成
- ・学割プランを増やし、大学にパンフレットを置く
- ・ハタチの誕生日にパスポートを安く取得できる制度をつくる

【海外のイメージ向上】

- ・言語や文化など、海外に対する負のイメージをなくす
- ・海外旅行に行く手間以上に、価値のあることを伝える
- ・SNSなどを通して、楽しい場所やモデルコースを宣伝する

【社会人へのサポート】

- ・社会人の人が休みを取って旅行に行きやすい環境を整える
- ・海外旅行に補助金や手当てを充てる

私たちに課せられたミッション
(SNSへの投稿)は、見てくれた友人が多く、
アウトバウンド促進に効果的であると考えます！！



ミライへの一歩

ハチの一步では、大学での学びを深めたり
将来の夢へ向かって、後押しとなるような
素敵な時間を過ごせました

あしがき（1）

- 大学では、栄養や食べ物について勉強しており、現地の食べ物を食べたり、市場に行ったりしたいと思いました。ハチの一步プログラムでは、定番のタイ料理から、地元の人に愛されるローカルフードをたくさん食べることができたので、この経験を活かし、料理をさらに深めていきたいと思いました。（栄養学部・Yさん）
- 私は大学で、文学や言語を中心にし、幅広い国や地域の文化現象を学んでいます。その中で、留学生の友人との間で価値観の違いを感じ、他国への理解を深め、客観的な国際関係を身に着けたいと思い応募しました。タイ人はのびのびと生きている印象で、また日本の当たり前が通じないことから、固定概念のないものの見方が身につきました。（人文社会学部・Kさん）
- 将来、観光業界に就職したいと思っていますが、海外経験がないのはどうなのだろうかと心配になり志望しました。初めて海外旅行をし、実際に目で見ること、写真やVRよりも海外の良さを肌で感じることができました。これから様々な国へ行き、自分の世界観を広げたいと思いました。（観光学部・Bさん）
- 世界史の先生になるのが夢ですが、海外に行ったことがなく、見たことのないものを生徒に教えることができるだろうかと思い志望しました。短い期間でしたが、教科書に出てくる王様のお寺や、昔の王朝の遺跡を回ることができ、貴重な経験になりました。外国の素晴らしさや楽しさを伝えることができる教員になれるよう頑張ります。（政経学部・Eさん）

あしがき（2）

ハタチの一步 タイ・バンコク方向

リーダー：山口 衿奈（拓殖大学）

こんにちは。タイ方向リーダーの山口と申します。

本来ならば、事後報告会で素晴らしい体験をさせていただいたことのお礼を、直接伝えたかったのですが、新型コロナウイルスの影響により中止になってしまい本当に残念です。タイ旅行がとても充実した5日間であったことが伝わるよう、メンバーにアンケートをとり一生懸命作りました。この中で、少しでも感謝を伝えることができれば幸いです。

また、この報告書を見てくれた方の中には、ハタチの一步に応募しようか悩んでいる方もいると思います。答えは一択です。ぜひ応募してください。初めての海外旅行を、初めましての友達と行くというのは、なかなかない経験です。最初は戸惑いや緊張があるかと思いますが、感動やワクワクを共有した友達と絶対に仲良くなれると思います。もちろん、自分自身の視野も広がります。数ある行先の中で、この報告書をきっかけにタイ方向を選んでくれたら嬉しいです。

最後になりますが、タイ方向を代表し、心よりお礼申し上げます。今後のハタチの一步プログラムの益々の発展をお祈りし、結びの言葉とさせていただきます。

